ＭＯＩ－Ｅ００１７０

日本電気通信システム株式会社

Tele Circle® (MT-20A1)
取扱説明書

はじめに

　このたびは電話会議端末をお買い求めいただき誠にありがとうございます。ご使用の前には必ず、“安全上の注意”をお読みください。製品を安全に正しくお使いいただくための注意が書かれています。
　なお、本書の一部は保証書になっておりますので、お読みいただいたあとも大切に保管してください。

情報処理装置等電波障害自主規制について

　この装置は、クラスＢ情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
　取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。　　　　　　ＶＣＣＩ－Ｂ

輸出する際の注意事項

本製品は日本国内仕様であり、外国の規格等には準拠しておりません。本製品を日本国外で使用された場合、当社は一切責任を負いかねます。また、当社は本製品に関し海外での保守サービスおよび技術サポートは行っておりません。
本製品を海外に持ち出す場合は外国為替および外国貿易法を確認され、同法を遵守して下さい。

安全上の注意

<安全にお使いいただくためにかならずお守りください>

本書は、危害や損害の大きさや切迫の程度を明示するために、誤った使い方をすると生じることが想定される内容を、「警告」、「注意」の２つに区分し、絵記号を使って示しています。絵記号の表示と意味は次のようになっています。

警告表示の意味

⚠ 警告	この表示の注意事項を守らないで、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠ 注意	この表示の注意事項を守らないで、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容、および物的損害の発生が想定される内容を示しています。

絵記号の意味

⚠	△記号は警告・注意を促す内容があることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な注意内容（左図の場合は一般的な注意）が描かれています。
🛇	⃠記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。
●	●記号は行為を強制したり、指示する内容を告げるものです。図の中や近傍に具体的な指示内容（左図の場合はＡＣアダプタを抜く）が描かれています。

⚠ 警告

分解禁止	●分解・改造をしない 火災・感電・故障の原因となります。
禁 止	●上に物を置かない 本体の上や近くに水の入った容器を置かないでください。 落下したり、こぼれたりすると、火災・感電・故障の原因となります。

●金属類を差し込まない

すき間などから内部に金属類を差し込んだりしないでください。万一、内部に入ったときは、ＡＣアダプタをコンセントから抜いて、販売店にご連絡ください。
そのまま使用すると、火災・感電・故障の原因となります。

●水で濡らさない

水滴がついたときは、乾いた布で拭き取ってください。
万一、内部に水が入ったときは、ＡＣアダプタをコンセントから抜いて、販売店にご連絡ください。
そのまま使用すると、火災・感電・故障の原因となります。

●付属以外のＡＣアダプタを使用しない

ＡＣアダプタは必ず付属のものを使用してください。
付属以外の物を使用すると、火災・感電・故障の原因となります。

●ＡＣアダプタの刃にほこりが付着していないか確認し、刃の根元まで確実に差し込む

ＡＣアダプタの刃にほこりが付着したり、金属が触れると、火災・感電の原因となります。

●濡れた手でＡＣアダプタにさわらない

感電の原因となります。

●雷が激しいときはＡＣアダプタコード・電話回線コードにさわらない

感電の原因となります。

●ＡＣアダプタのコードを傷つけない

コードを無理に曲げたり、引っ張ったり、コードの上に重いものをのせたりしないでください。万一、コードが痛んだときは、販売店に交換を依頼してください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。

●異常が起きたときには

万一、煙がでている、変な臭い、異常な音がするなどの場合は、ＡＣアダプタをコンセントから抜いて、販売店にご連絡ください。
そのまま使用すると、火災・感電・故障の原因となります。

●ＡＣアダプタはＡＣ100Vの家庭用電源以外では使用しない

火災、感電の原因になります。

⚠警告

●ＡＣアダプタは、たこ足配線にしない

テーブルタップなどが過熱し、劣化し、火災の原因になります。

●ＡＣアダプタは風通しの悪い狭い場所（収納棚や本棚の後ろなど）に設置しない

過熱し、火災や破損の原因となることがあります。ＡＣアダプタは、電源コンセントの近くに設置し、容易に抜き差し可能な状態でご使用下さい。

●電源コードが傷んだ状態（芯線の露出、断線）のまま使用 しない

火災、感電の原因になります。すぐに本商品のＡＣアダプタをコンセントから抜いて修理依頼して下さい。

●商品を落としたり破損した場合はそのまま使用しない

ＡＣアダプタをコンセントから抜いて、販売店に連絡下さい。
そのまま使用すると火災、感電の原因になります。

●本商品の内部や周囲でエアダスターやダストスプレーなど可燃性ガスを使用したスプレーを使用しない

引火による爆発、火災の原因になります。

●人命に直接かかわる医療機器や、極めて高い信頼性を要求されるシステム（幹線通信機器や電算機システムなど）では使用しない

社会的に大きな混乱が発生する恐れがあります。

⚠注意

●汚れたときのお手入れのしかたは

汚れた場合は柔らかい布で乾拭きしてください。ベンジン・シンナー・アルコール・洗剤等を用いると外装や文字が変質する恐れがありますので使用しないでください。

●湿気の多い場所には置かない

火災・感電・故障の原因となります。

●油煙や湯気のあたる場所に置かない

調理台や加湿器などのそばに置かないでください。
火災・感電・故障の原因となります。

●ほこりの多い場所に置かない

火災・感電・故障の原因となります。

●直射日光の当たる場所に置かない

内部の温度が上がり、火災の原因となります。

●不安定な場所や振動の多い所に置かない

落ちたり、倒れたりすると、けが・故障の原因となります。
万一、本体の一部が破損したときは、ＡＣアダプタをコンセントから抜いて、販売店にご連絡ください。
そのまま使用すると、火災・感電・故障の原因となります。

●ＡＣアダプタのコードに熱器具を近づけない

コードの被覆が溶けて、火災・感電の原因となります。

●ＡＣアダプタを抜くときは、ＡＣアダプタ本体を持って抜く

コードを引っ張るとコードが傷ついて、火災・感電の原因となります。

●移動させるときはＡＣアダプタと電話回線コードを抜く

コードを接続したまま移動を行うとコードが傷つき、火災・感電の原因となります。

⚠注意

●使用しないときはＡＣアダプタを抜く

本体をご使用にならない場合は、安全のためＡＣアダプタをコンセントから抜いてください。

●温度変化の激しい場所（クーラーや暖房機のそばなど）に置かない

内部に結露が発生し、火災、感電、故障の原因になります。

●風通しの悪い場所に置かない

内部に熱がこもり、火災の原因なることがあります。
次のような使い方もしないで下さい。
○収納箱や本棚、箱などの風通しの悪い狭い場所に押し込む。
○じゅうたんや布団の上に置く。
○テーブルクロスなどの布、毛布をかけたり、包んだりする。

●商品に乗らない

特にお子様のいる家庭ではご注意ください、壊れてけがの原因となることがあります。

もくじ

箱の中身を確認します

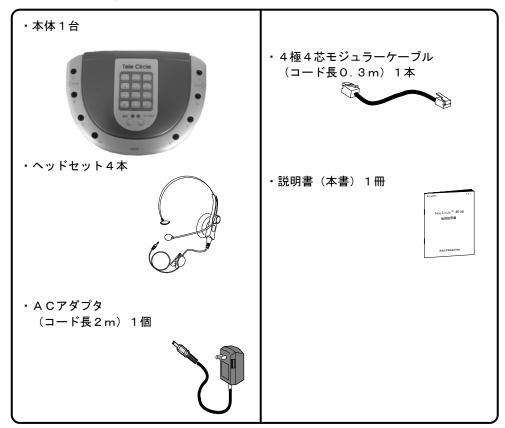
　箱を開けて以下のものが全て揃っているかどうか確かめてください。もし万一、不足しているものがある場合には、お買い求めの販売店にご連絡ください。

・本体１台

・ヘッドセット４本

・ＡＣアダプタ
　（コード長２ｍ）１個

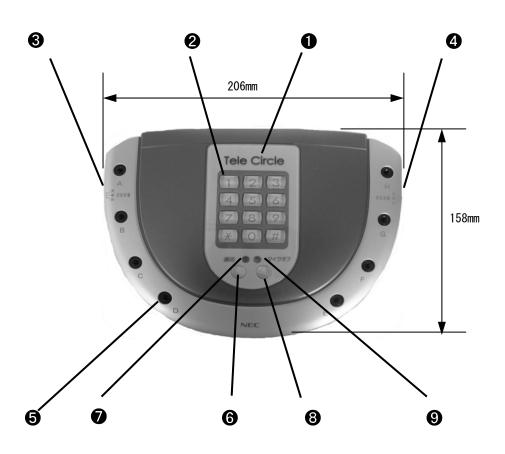
・４極４芯モジュラーケーブル
　（コード長０．３ｍ）１本

・説明書（本書）１冊

製品の説明

本機は、一般の電話回線（公衆回線）はもちろんのこと、オフィスのキーテレホン、お手持ちのＰＨＳ／携帯電話に接続して、８人までの電話会議を手軽に実現できる電話会議端末です。ヘッドセットの使用により、騒々しい場所でもクリアな音質が確保されます。また、静かなオフィスでも周りに気兼ねすることなく、快適な会議環境を提供します。

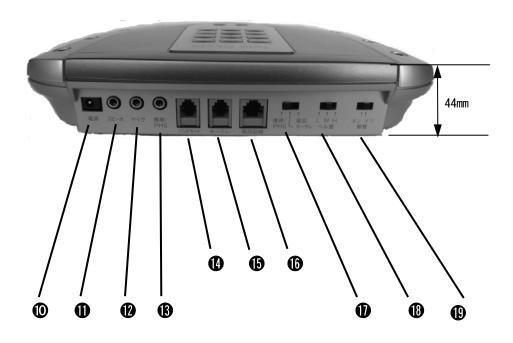
各部のなまえとはたらき

各部のなまえとはたらきについて以下に示します。
※キーテレホンはデジタル電話機を示します。

◆本機上面

◆操作箇所のなまえと説明（❶～❾）

Ｎｏ．	名称	説明
❶	装置名称	「Tele Circle」
❷	ｷｰﾊﾟｯﾄﾞ	電話をかけるとき、相手側の電話番号を入力します。（電話回線で使用の場合）
❸	送話音量ｽｲｯﾁ	各モードにおける送話音量を調整します。 ８本のヘッドセット全てが同音量に調整されます。小 ⇔ 中 ⇔ 大の３段階の調整ができます。
❹	受話音量ｽｲｯﾁ	各モードにおける受話音量を調整します。 ８本のヘッドセット全てが同音量に調整されます。小 ⇔ 中 ⇔ 大の３段階の調整ができます。
❺	ﾍｯﾄﾞｾｯﾄ A-H	ヘッドセットを接続します。最大８個まで接続できます。
❻	通話ｽｲｯﾁ	電話をかけるとき、または相手からの電話を受けるときに押します。 押すと本機が通話オンの状態になり､「通話ランプ」（⑦）が点灯します。
❼	通話ﾗﾝﾌﾟ（緑）	呼出音が鳴っているときに点滅（電話回線で使用の場合）し、通話中は点灯します。
❽	ﾏｲｸｵﾌｽｲｯﾁ	ヘッドセットのマイク出力をオフにします。 押す度にマイク出力のオン／オフが切り替わります。
❾	ﾏｲｸｵﾌﾗﾝﾌﾟ（橙）	マイクオフ状態のときに点灯します。

◆本機背面

電源
スピーカ
マイク
携帯/PHS
ハンドセット
キーテレ
電話回線
携帯/PHS
電話キーテレ
L M H
ベル音
オン オフ
側音
44㎜
❿
⓫
⓬
⓭
⓮
⓯
⓰
⓱
⓲
⓳

◆操作箇所のなまえと説明(⑩～⑲)

Ｎｏ.	名称	説明
⑩	電源端子	付属品のＡＣアダプタを接続します。
⑪	ｽﾋﾟｰｶ端子	推奨する外部スピーカを接続できます。録音機器を接続して録音端子としても使用できます。
⑫	ﾏｲｸ端子	推奨する外部マイクを接続できます。
⑬	携帯/PHS端子	ＰＨＳ･携帯接続用ケーブルを使用してＰＨＳまたは携帯電話のイヤホンマイク端子に接続します。
⑭	ﾊﾝﾄﾞｾｯﾄ端子	キーテレホンの受話器を接続します。
⑮	ｷｰﾃﾚ端子	付属品の４極４芯モジュラージャックケーブルを使用して、キーテレホンの受話器インタフェース部コネクタと接続します。
⑯	電話回線端子	電話回線を接続します。
⑰	電話／ｷｰﾃﾚ／携帯/PHSｽｲｯﾁ	接続する回線モードを選択するためのスライド式スイッチです。 電話回線／キーテレ／携帯/PHS の３種類から１つを選びます。
⑱	ﾍﾞﾙ音 L/M/Hｽｲｯﾁ	呼出ベル音を調整するためのスライド式スイッチです。 Ｌ(小) ⇔ Ｍ(中) ⇔ Ｈ(大)の３段階の調整ができます。
⑲	側音 ｵﾝ/ｵﾌｽｲｯﾁ	ｷｰﾃﾚ、PHS・携帯ﾓｰﾄﾞの時に側音のｵﾝ/ｵﾌの切替を行うためのスライド式スイッチです。

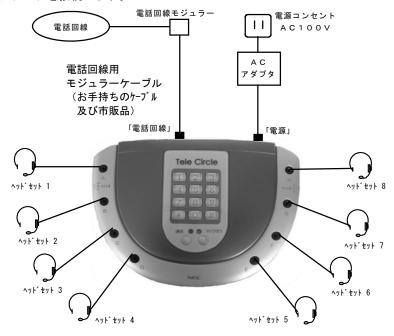
電話回線に接続する場合の使い方

製品をご使用になる前の準備として、お手持ちの電話回線用モジュラーケーブルを使って、本機の配線を行います。配線後、接続形態に従って設定を完了させます。本機はプッシュ回線（ＰＢ）のみ使用可能です。ダイヤル回線（10/20pps）は使用不可となります。

・配線の際、ＡＣアダプタは、必ず付属品を使ってください。付属品以外のものを使いますと、故障の原因となります。
・本機使用中にヘッドセットを抜き差しする場合は、マイクオフスイッチを押し、マイクオフランプが点灯している状態で行ってください。マイクオンの状態で抜き差しした場合、故障の原因となります。

◆接続図

①ヘッドセットを本体上面のA-H（❺）に接続します。
②本機背面の接続口「電話回線」（⓰）と電話回線モジュラーコンセントを６極２芯モジュラーケーブルで接続します。
③ＡＣアダプタを接続します。

◆設定

本機背面のスイッチを下記のように設定してください。

（１）「電話／キーテレ／携帯/ＰＨＳ」スイッチ（⓱）を“電話”に設定します。

（２）「ベル音　Ｌ／Ｍ／Ｈ」スイッチ（⓲）で呼出音の音量を設定します。

設定値		呼出音量
Ｌ	:	（小）
Ｍ	:	（中）
Ｈ	:	（大）

（注）電話回線の場合、「側音　オン/オフ」スイッチ⓳は無効となります。
側音は入った状態での使用になります。

◆使用手順

電話をかける

①「通話」スイッチ（❻）を押します（※１）

> **注意！**「通話」スイッチは、１秒程度押し続けて下さい。時間が短いとスイッチが入りません。

②本機のキーパッド（❷）を使って相手先電話番号を押し、電話をかけます（※４）

電話を受ける

①着信すると呼出音が鳴ります（※２）
②「通話」スイッチ（❻）を押します（※１）

> **注意！**「通話」スイッチは、１秒程度押し続けて下さい。時間が短いとスイッチが入りません。

通話音量を調整する

①ヘッドセットを装着し通話音を調整します
相手側からの音量：本機右側面の「受話音量」スイッチ(❹)で調整します。
こちら側からの音量：本機左側面の「送話音量」スイッチ(❸)で調整します。
※音量を調整する場合は、小→中→大と低い方から大きくしていくように調整して下さい
相手に声を伝えたくない場合：「マイクオフ」スイッチ（❽）を押します。

終了する

①会議が終わったら、「通話」スイッチ（❻）を押して電話を切ります（※３）

> **注意！**「通話」スイッチは、１秒程度押し続けて下さい。時間が短いとスイッチが切れません。

※１：「通話」ランプ（緑）（❼）が点灯します。
※２：「通話」ランプ（緑）（❼）が点滅します。
※３：「通話」ランプ（緑）（❼）が消灯します。
※４：番号をかけ間違えたときは、「通話」スイッチを押して、一旦切ってから再度「通話」スイッチを押してかけ直します。

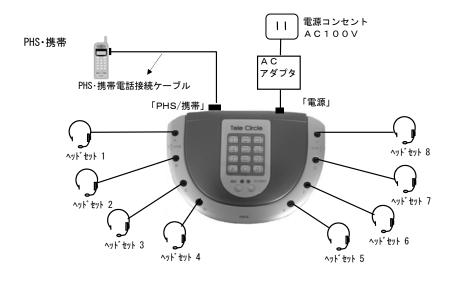
ＰＨＳ・携帯電話に接続する場合の使い方

製品をご使用になる前の準備として、オプションケーブル(P22)を使って、本機の配線を行います。配線後、接続形態に従って設定を完了させます。

・配線の際、ＡＣアダプタは、必ず付属品を使ってください。付属品以外のものを使いますと、故障の原因となります。
・本機使用中にヘッドセットを抜き差しする場合は、マイクオフスイッチを押し、マイクオフランプが点灯している状態で行ってください。マイクオンの状態で抜き差しした場合、故障の原因となります。

◆接続図

①ヘッドセットを本体上面のA-H（❺）に接続します。
②ＰＨＳ／携帯電話のイヤホンマイク端子の形状を確認します。
接続ケーブルはイヤホンマイク端子の形状により、異なりますので選択願います。
丸型（2.5Φ）の場合：推奨の市販品ケーブル（3.5Φ⇔2.5Φｽﾃﾚｵｹｰﾌﾞﾙ）
平型(専用)、外部接続型(電源供給共用）の場合：ｵﾌﾟｼｮﾝ品のPHS･携帯接続ｹｰﾌﾞﾙA
＊注：PHSや携帯電話の機種により異なるので弊社または販売店にご相談下さい。
PHS･携帯接続ｹｰﾌﾞﾙ(推奨市販品ｹｰﾌﾞﾙ/ｵﾌﾟｼｮﾝ)のPHS･携帯電話ｹｰﾌﾞﾙAで本機背面「携帯/PHS」端子（⓭）とPHS/携帯電話のイヤホンマイク端子に接続します。
③ＡＣアダプタを接続します。

◆設定

本機背面のスイッチを下記のように設定してください。

（１）「電話／キーテレ／携帯/ＰＨＳ」スイッチ（⓱）を“携帯/ＰＨＳ”に設定します。
（注）ＰＨＳ／携帯電話使用の場合、設定スイッチ（⓲）は使用しません。（無効）

（２）側音が必要な場合は「側音　オン/オフ」スイッチで⓳で設定します。
　＊通常は「オフ」で使用することを推奨します。

◆使用手順

電話をかける

①ＰＨＳ／携帯電話のダイヤルボタンを押して相手に電話をかけます（※３）
②相手側とつながったらＰＨＳ／携帯電話はそのままで本機の「通話」スイッチ（❻）を押します（※１）

注意！「通話」スイッチは、１秒程度押し続けて下さい。時間が短いとスイッチが入りません。

電話を受ける

①着信するとＰＨＳ／携帯電話から呼出音が鳴ります
②ＰＨＳ／携帯電話で受信します
③ＰＨＳ／携帯電話はそのままにして本機　の「通話」スイッチ（❻）を押します（※１）

注意！「通話」スイッチは、１秒程度押し続けて下さい。時間が短いとスイッチが入りません。

通話音量を調整する

①ＰＨＳ／携帯電話の受話音量を、中間に設定して下さい。
※ ５，６段階調整の機種は３に、３段階調整の機種は２に設定します
②ヘッドセットを装着し通話音を調整します
相手側からの音量：本機右側面の「受話音量」スイッチ(❹)で調整します。
こちら側からの音量：本機左側面の「送話音量」スイッチ(❸)で調整します。
※音量を調整する場合は､小→中→大と低い方から大きくしていくように調整して下さい
相手に声を伝えたくない場合：「マイクオフ」スイッチ（❽）を押します。

終了する

①会議が終わったら、本機の「通話」スイッチ（❻）を押して、本機の電源をきります（※２）

注意！「通話」スイッチは、１秒程度押し続けて下さい。時間が短いとスイッチが切れません。

②ＰＨＳ／携帯電話を切ります

※１：「通話」ランプ（緑）（❼）が点灯します。
※２：「通話」ランプ（緑）（❼）が消灯します
※３：本機のキーパッド（❷）は使用できません。ＰＨＳ・携帯電話からダイヤルして下さい。

注意！

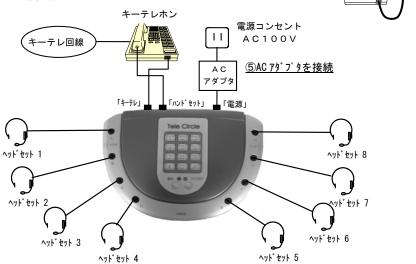
１）電話機の機種によっては使用できない場合もあります。
２）携帯電話からのノイズ音が入る場合は、本体と携帯電話をできるだけ離してご使用ください。

キーテレホンに接続する場合の使い方

製品をご使用になる前の準備として、まず、本機と一緒に梱包されている付属品を使って、本機の配線を行います。配線後、接続形態に従って設定を完了させます。

・配線の際、ＡＣアダプタは、必ず付属品を使ってください。付属品以外のものを使いますと、故障の原因となります。
・本機使用中にヘッドセットを抜き差しする場合は、マイクオフスイッチを押し、マイクオフランプが点灯している状態で行ってください。マイクオンの状態で抜き差しした場合、故障の原因となります。

◆接続図

①ヘッドセットを本体上面の A-H（❺）に接続します。
②キーテレホンの本体とハンドセット（受話器）をつないでいるケーブルをキーテレホン本体からはずします。
③②ではずしたコネクタを本機の接続口⓮（「ハンドセット」）に差し込み、ハンドセットと本機を接続します。
④付属の４極４芯モジュラーケーブルで、キーテレホンのハンドセットインタフェース（ハンドセットが接続されていた部分）と本機の接続口⓯（「キーテレ」）を接続します。
⑤ＡＣアダプタを接続します。

◆設定

本機背面のスイッチを下記のように設定してください。

（１）「電話／キーテレ／携帯/ＰＨＳ」スイッチ（⑰）を“キーテレ”に設定します。
（注）キーテレホン使用の場合設定スイッチ⑱は使用しません（無効となります）。

（２）側音が必要な場合は「側音 オン/オフ」スイッチで⑲で設定します。
＊通常は「オフ」で使用することを推奨します。

◆使用手順

電話をかける

①キーテレホンのハンドセットを上げます
②キーテレホンのダイヤルボタンを押して相手に電話をかけます（※３）
③相手側とつながったらキーテレホンのハンドセットはそのままで本機の「通話」スイッチ（❻）を押します（※１）

注意！「通話」スイッチは、１秒程度押し続けて下さい。時間が短いとスイッチが入りません。

電話を受ける

①着信するとキーテレホンから呼出音が鳴なります
②キーテレホンのハンドセットを上げます
③ハンドセットはそのままにして本機の「通話」スイッチ（❻）を押します（※１）

注意！「通話」スイッチは、１秒程度押し続けて下さい。時間が短いとスイッチが入りません。

通話音量を調整する

①ヘッドセットを装着し通話音を調整します
相手側からの音量：本機右側面の「受話音量」スイッチ(❹)で調整します。
こちら側からの音量：本機左側面の「送話音量」スイッチ(❸)で調整します。
※音量を調整する場合は、小→中→大と低い方から大きくしていくように調整して下さい
相手に声を伝えたくない場合：「マイクオフ」スイッチ（❽）を押します。

終了する

①通話が終わったら、本機「通話」スイッチ（❻）を押し、キーテレホンの受話器を戻して電話を切ります（※２）

注意！「通話」スイッチは、１秒程度押し続けて下さい。時間が短いとスイッチが切れません。

※１：「通話」ランプ（緑）（❼）が点灯します。
※２：「通話」ランプ（緑）（❼）が消灯します。
※３：本機のキーパッド（❷）は使用不可です。
番号をかけ間違えたときは、キーテレホンの受話器を戻し、一旦切ってから再度かけ直します。

注意！

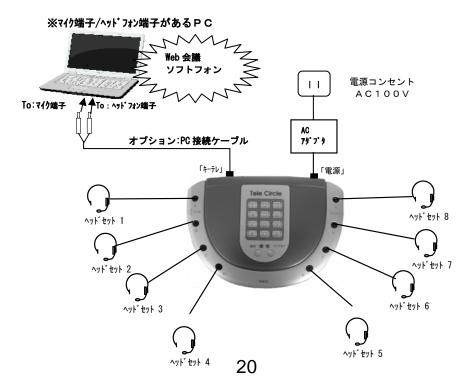
電話機の機種によっては使用できない場合もあります。

ＰＣに接続する場合の使い方

製品をご使用になる前の準備として、オプションケーブル(P22)を使って、本機の配線を行います。配線後、接続形態に従って設定を完了させます。

・配線の際、ＡＣアダプタは、必ず付属品を使ってください。付属品以外のものを使いますと、故障の原因となります。
・本機使用中にヘッドセットを抜き差しする場合は、マイクオフスイッチを押し、マイクオフランプが点灯している状態で行ってください。マイクオンの状態で抜き差しした場合、故障の原因となります。

◆接続図

①ヘッドセットを本体上面の A-H（❺）に接続します。
②オプション品のＰＣ接続ケーブルをＰＣの「マイク」端子と「ヘッドフォン」端子に接続し、本機の接続口⓯「キーテレ」端子と接続します。
※「マイク端子」と「ヘッドフォン端子」がない場合、または動作しない場合は弊社または販売店へご相談下さい。
③ＡＣアダプタを接続します。

◆設定

本機背面のスイッチを下記のように設定してください。

（１）「電話／キーテレ／携帯/ＰＨＳ」スイッチ（⑰）を“キーテレ”に設定します。
（注）キーテレホン使用の場合設定スイッチ⑱は使用しません（無効となります）。

（２）側音が必要な場合は「側音 オン/オフ」スイッチで⑲で設定します。
＊通常は「オフ」で使用することを推奨します。

◆使用手順

電話をかける

①ＰＣからの操作で WEB 会議に参加する。
または、相手を呼び出す。
②相手側とつながったら、本機の「通話」スイッチ（❻）を押します（※１）

注意！「通話」スイッチは、１秒程度押し続けて下さい。時間が短いとスイッチが入りません。

電話を受ける

①着信、及び WEB 会議に参加します。
③本機の「通話」スイッチ（❻）を押します（※１）

注意！「通話」スイッチは、１秒程度押し続けて下さい。時間が短いとスイッチが入りません。

※１：「通話」ランプ（緑）（❼）が点灯します。
※２：「通話」ランプ（緑）（❼）が消灯します。
※３：本機のキーパッド（❷）は使用不可です。

通話音量を調整する

①ヘッドセットを装着し通話音を調整します
相手側からの音量：本機右側面の「受話音量」スイッチ(❹)で調整します。
こちら側からの音量：本機左側面の「送話音量」スイッチ(❸)で調整します。
※音量を調整する場合は、小→中→大と低い方から大きくしていくように調整して下さい
相手に声を伝えたくない場合：「マイクオフ」スイッチ（❽）を押します。

終了する

⑤通話が終わったら、本機「通話」スイッチ（❻）を押し、キーテレホンの受話器を戻して電話を切ります（※２）

注意！「通話」スイッチは、１秒程度押し続けて下さい。時間が短いとスイッチが切れません。

注意！

ＰＣの機種、WEB 会議システムによっては使用できない場合もあります。

オプション品

本機器は下記のオプション品を用意しています。
本機器の使用方法にあわせて必要に応じてご購入願います。

【主なオプション】

No	名称	型番	説明
1	PHS・携帯電話接続ケーブルＡ	PSN-MT-20-100SS－HA	PHS・携帯電話接続する場合にｲﾔﾎﾝﾏｲｸ端子を使用して接続する。PHS・携帯電話のｺﾈｸﾀは平型ﾀｲﾌﾟと外部接続型（電源共用）にどちらにも対応しています。
2	PC 接続ケーブル※2	PSN-MT20-150PSS	ﾊﾟｿｺﾝと接続する場合にﾏｲｸ、ﾍｯﾄﾞﾌｫﾝ端子を使用して接続する。
3	USB 電源ケーブル※3	PSN-MT-20-150-USBP	電源を AC アダプタではなく、ﾊﾟｿｺﾝの USB 端子や市販バッテリーから供給するために使用する。
4	ヘッドセット	MT-669-45	標準 4 本添付、追加で必要な場合のオプション
5	キャリングバック	VTB-3070A	TeleCircle 収容のための専用バック
6	タンデム接続ケーブル	PSN-MT20-200PST	TeleCircle を 2 台以上接続して、参加人数を増やすための接続ケーブルです。
7	4 極 4 芯モジュラーケーブル	K-SP-8000	電話機（ｷｰﾃﾚﾌｫﾝ等）と TeleCircle（ｷｰﾃﾚ接続端子）を接続する場合に使用するケーブル
8	AC アダプタ	DA12-050MP-M401	TeleCircle に AC100V から電源を供給する AC ｱﾀﾞﾌﾟﾀ

※1：PHS・携帯電話接続でｺﾈｸﾀが 2.5Φか 3.5Φ丸型ﾀｲﾌﾟの場合はご相談願います。
市販品の紹介になります
※2：パソコンの機種によっては接続できない場合もあります。
※3：パソコンの機種や市販バッテリーによっては使用できない場合もあります。
※4：その他オプション品、使用方法によっては市販品を紹介する場合もあります。
※5：オプション品の詳細、市販品の紹介の詳細については、下記をご覧ください。
http://www.ncos.co.jp/products/telecircle/
※6：オプション品(特に各種接続ケーブル）についてはお客様の環境でご確認頂いてからのご購入を推奨します。デモ機もありますので弊社及び販売店にご相談ください。

故障かな？と思ったときは

状況	確認する内容	処置
「通話」ランプが点灯しない	ＡＣアダプタがはずれていませんか。	ＡＣアダプタの接続を確認してください。
「通話」スイッチが入らない	「通話」スイッチの押下時間が短くないですか。	「通話」スイッチを、１秒程度押し続けて下さい。時間が短いとスイッチが入りません。
ヘッドセットから声が聞こえない	本体の受話音量を絞っていませんか。	受話音量を調節してください。
	ヘッドセットがジャックからはずれているまたは半ざしになっていませんか。	ヘッドセットの接続を確認してください。
通話できない	キーテレホン、ＰＨＳ・携帯電話使用時、本機背面のスイッチ「電話／キーテレ／携帯/ＰＨＳ」）が接続環境の設定になっていますか。	本機背面のスイッチ（「電話／キーテレ／携帯/ＰＨＳ」）をご使用の電話回線モードに合わせてください。
	電話回線/キーテレ/PHS・携帯電話使用時の正しい接続になっていますか	接続方法をご確認ください。
通話相手に声が聞こえない	本体の送話音量を絞っていませんか	送話音量を調節してください。
	ヘッドセットがマイクオフになっていませんか。	ヘッドセットのコントローラ部のマイクオフスイッチをオンにして下さい。

仕様

本機の主な仕様を示します。

項目	仕様の説明
品名	Tele　Circle（MT-20A1）
型式番号	E0020A1
使用回線	ｱﾅﾛｸﾞ電話回線（ﾌﾟｯｼｭﾎﾞﾀﾝのみ）
	ﾃﾞｼﾞﾀﾙｷｰﾃﾚﾎﾝ/IP 電話　（ﾊﾝﾄﾞｾｯﾄｲﾝﾀｰﾌｪｰｽ接続）※１
	PHS または携帯電話　（ｲﾔﾎﾝﾏｲｸ端子接続）　※２
	Web 会議（IP 網）　（ﾍｯﾄﾞｾｯﾄ端子接続）※３
ダイヤル方式	ﾌﾟｯｼｭﾎﾝ回線式のみ
使用電源	AC100V　（AC ｱﾀﾞﾌﾟﾀ使用時）※４
	DC5V　（USB 電源ｹｰﾌﾞﾙ使用時）
消費電力	最大　1W（本体　DC5V）
環境条件	動作温度:0～40℃　動作湿度：30～90%
	保存温度：-10～50
寸法	206mm（W）×158mm（D）×44mm（H）
重量	約 390ｇ（本体のみ）

※１：電話機の機種によっては接続できない場合があります。
※２：PHS または携帯電話のｲﾔﾎﾝﾏｲｸ端子に接続するにはｵﾌﾟｼｮﾝの PHS・携帯電話接続ｹｰﾌﾞﾙが必要です。
※３：PC のﾍｯﾄﾞｾｯﾄ端子に接続するにはｵﾌﾟｼｮﾝの PC 接続ｹｰﾌﾞﾙが必要です。
※４：電気用品安全法準拠の AC ｱﾀﾞﾌﾟﾀを採用しています。

修理を依頼されるとき

故障時の修理は、お買い求めいただいた販売店にお問い合わせください。または下記をご覧ください。
http://www.ncos.co.jp/products/telecircle/

保証規定

1．取り扱い説明書に基づくお客様の正常なご使用状態のもとで保証期間内に万一故障した場合、保証書をご提示いただければ、付属品（ACｱﾀﾞﾌﾟﾀ、ｹｰﾌﾞﾙ等）を含めて無料にて故障箇所を当社所定の方法で修理させていただきますので、保証書添付の上、お問い合わせ先にご相談ください。

2．本製品の故障、またはその使用によって生じた直接、間接の損害については、当社はその責任を負わないものとします。

3．次のような場合には、保証期間中であっても有料修理になります。
(1) 本保証書のご提示がない場合。
(2) お客様による輸送、移動時の落下、衝撃等、お客様の取り扱いが適正でないために生じた故障、損傷の場合。
(3) お客様による使用上の誤り、あるいは不当な改造、修理による故障および損傷。
(4) 火災、塩害、ガス害、地震、落雷、および風水害、その他天災地変、あるいは異常電圧などの外部要因に起因する故障および損傷。
(5) 本製品に接続している当社指定以外の機器および消耗品に起因する故障および損傷。
(6) 正常なご使用方法でも消耗部品が自然消耗、磨耗、劣化した場合。

4．ご不明の点は、お問い合わせ先までご相談ください。

5．本保証書は、日本国内においてのみ有効です。
This warranty is valid only in Japan.

●この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがってこの保証書によってお客様の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理などについてご不明の場合は、お問い合わせ先までご相談ください。

保証書

■品名　Tele Circle®　(MT-20A1)			■保証期間　お買い上げの日から１年
■型式番号　E0020A1			※お買い上げ日　年　月　日
※お客様	ご住所	〒　ＴＥＬ	
	ご氏名	様	
※販売店	住所	〒　ＴＥＬ	
	店名	印	

注１．本保証書は、保証期間中に本製品に故障が発生した場合、無料修理させていただくことをお約束するものです。再発行は致しませんので、大切に保管してください。
注２．※印欄に記入の無い場合は無効となりますので必ずご確認ください。もし記入のない場合は直ちにお買い上げの販売店にお申し出ください。

Tele Circle® (MT-20A1)
取扱説明書

日本電気通信システム株式会社
〒108-0073　東京都港区三田 1-4-28　三田国際ビル

このマニュアルは再生紙を使用しています。

２０１５年　３月　第３版　発行